

行政視察報告書

所属委員会 または会派名	議会改革推進 特別委員会	参加者 氏名	委員長 藤森靖明 副委員長 井上登 近藤一美 牛山実弦 小泉正幸 横山真 小山博子 議長 牛山正		
行政視察名称	令和7年度 諏訪市議会 行政視察				
視察期間	令和 8年 2月 3日(火)~4日(水)				
視察都市名				茨城県取手市 (令和 8年 2月 3日)	
1.視察した目的					
議会改革の一環として、ICT(情報通信技術)や DX(デジタルトランスメーション)を活用した議会運営の現状を把握し、議会改革の先進事例を学ぶこと。					
2.視察地の概要 (2026年 3月 1日現在 下段は諏訪市)					
住民基本 台帳人口	105,787 人	住民基本 台帳世帯数	53,007 世帯 21,507 世帯	面積	69.94 km ² 109.91 km ²
1. 「ほどよく絶妙」な都市環境 取手市が掲げるキャッチコピーは「ほどよく絶妙とりで」。都心まで約 40km という距離にあり、JR 常磐線の「始発駅」という利便性を持ちながら、利根川や小貝川の豊かな自然が共存しているのが最大の特徴。					
2. 交通の利便性 ・鉄道： JR 常磐線の快速・特急停車駅。上野東京ラインにより、上野まで約 33 分、品川まで約 49 分で直結。 ・道路： 国道 6 号線や 294 号線が走り、都心やつくば方面へのアクセスも良好。					
3. 芸術のまち 東京藝術大学の取手キャンパスがあることから、アートによるまちづくりが盛ん。市内各所に彫刻作品が点在し、市民と芸術家が交流する「取手アートプロジェクト」など、文化的な香りが漂う街並みも魅力の一つ。					
4. 生活・子育て ニュータウン開発が進んだ住宅街と、古くからの田園地帯がバランスよく配置されている。物価や地価が都心に比べて抑えられているため、子育て世代の移住先としても人気があり、医療・福祉施設も充実している。					
3.視察内容					
取手市議会より、ICT を活用した議会運営や研修体制、情報政策課よりハラスメント対応の取り組みについて説明を受けた。特に、ハイブリッド型のオンライン研修システムにより議員間研修や市内外の議員への教育が充実している点が紹介された。また、AI と感情解析を組み合わせたカスタマーハラスメント対策を部の窓口職場(相談室)で試行しており、不適切発言をリアルタイムで検知し課長席へ通知するシステムなど、現場対応の効率化と安心安全の担保を図っていることを確認した。					
4.委員会としての所感及び諏訪市に反映できると思われる点					

取手市の ICT 活用は、議会改革を進めるうえで効果的な事例であると感じた。特にオンラインやハイブリッドの研修体制は、議員間の学習機会を大幅に拡充するものであり、諏訪市議会においても検討すべきである。また、AI を活用したカスタマーハラスメント対策は、職員の安全確保に加え、相談対応の質を高める仕組みとして参考になった。



視察都市名



埼玉県宮代町
(令和 8 年 2 月 4 日)

1. 視察した目的

ハラスメント根絶条例制定後の実践例を学び、制度設計や運用上の課題と成果を把握することで、今後の諏訪市における条例整備や施策運用に資する知見を得ること。

2. 視察地の概要 (2026年3月1日現在 下段は諏訪市)

住民基本 台帳人口	33,257 人 46,474 人	住民基本 台帳世帯数	15,942 世帯 21,507 世帯	面積	15.95 km ² 109.91 km ²
--------------	----------------------	---------------	------------------------	----	-------------------------------------------------

宮代町は埼玉県の東中部に位置し、「首都圏でいちばん人が輝く町」をキャッチコピーに掲げる、自然と都市機能が調和している。

1. 「農のあるまちづくり」

町の特徴として「農」を生活の基盤に置く独自のまちづくりを進めている。

新しい村：農業体験や地元の農産物販売を行う拠点を整備し、都市住民と農村の交流を促進している。

特産品：巨峰の栽培が非常に盛んで「巨峰の町」としても知られるほか、米や梨の生産も行われている。

2. 独創的な公共建築(進修館と笠原小学校)

建築界でも非常に有名な、象徴的な建物が存在している。

コミュニティセンター「進修館」：建築家集団・象設計集団による設計で、まるで遺跡や迷宮のような独創的な外観を持ち、町民の活動拠点となっている。

笠原小学校：同様に非常にユニークなデザインで、オープンスペースを活かした「壁のない教室」など、子どもの感性を育む教育環境が整っている。

3. 交通とレジャーの利便性

- ・鉄道：東武スカイツリーライン（伊勢崎線）が通り、町内に3つの駅（姫宮・東武動物公園・和戸）がある。都心まで約1時間というアクセスの良さからベッドタウンとしての側面も持つ。
- ・レジャー：広大なハイブリッド・レジャーランド「東武動物公園」の所在地であり、町の内外から多くの観光客が訪れる。

4. 学術・教育環境

町内には日本工業大学のキャンパスがあり、学生が多く居住している。そのため、20歳前後の若年層人口が突出して多いという、一般的な自治体とは異なる興味深い人口構成（学生街としての側面）である。

3. 視察内容

宮代町議会において、ハラスメント根絶条例制定後の運用状況や課題について説明を受けた。他自治体に先駆けて条例を施行し、職員・議員双方の相談体制・対応手続きの整備、研修実施等を実行していることが紹介された。また、相談・事実確認における証拠整理や対応記録の重要性についての事例も示された。

4. 委員会としての所感及び諏訪市に反映できると思われる点

宮代町の取り組みは、法制度としての整備だけに留まらず、実際の運用面での対応力の強化に重点を置いている点の特徴である。証拠保存や事実確認の仕組みを整備することで対応の公平性を担保する方策は、諏訪市においても有益な示唆となる。また、条例を運用するうえで必要な研修および相談支援体制の強化についても検討が必要であると感じた。

